

デンツプライシロナ賞選考方法の変更について

日本歯科麻酔学会では、賛助会員のデンツプライシロナ株式会社との取り交わしにより、平成 15 年度よりデンツプライシロナ賞（以下同賞）を表彰しております（平成 28 年度より、先方の米国本社の合併に伴い、賞の名称が変更）。

従来は、学術集会終了後に一般演題全てを対象として 4 演題を選考し、1 年後の学術集会時の会員懇親会で表彰を行ってまいりましたが、平成 29 年 10 月に長野県松本市で行われる第 45 回学術集会より、選考方法を変更し、事前エントリー制を採用することとなりました。

同賞に応募していただくには、演題登録時に同賞にエントリーする必要があります。

また、筆頭演者 1 人につき 1 題とし、発表形式は口頭発表となります。

エントリーされた演題について、事前に一次審査を行います。一次審査は、学術集会会長、理事長、および学術委員会にて行います。一次審査にて、臨床部門の演題 6 題、基礎部門の演題 6 題の計 12 演題に絞らせていただきます。その結果、選考された演題を、学術集会初日の午前中に発表していただき、それを審査し、最終的に同賞の基礎部門 2 演題、臨床部門 2 演題を決定します。

最終選考結果は学術集会初日の午後に発表され、表彰はその日の夕方から開催されます会員懇親会で執り行われます。

なお、一次審査の段階で、選考されなかった演題につきましては、一般演題となりますが、その採否は学術集会会長により決定されますので、予めご了承下さい。また、臨床部門の演題につきましては、症例報告は対象から除外しますので、ご注意下さい。

多数のご応募をお待ちしております。

一般社団法人 日本歯科麻酔学会
理事長 一戸 達也

学術委員会
委員長 丹羽 均